

テレワークの実現へ向けて

テレワークは「tele=離れた場所」と「Work=働く」をあわせた造語

いつでも
どこでも
どこからでも。

新型コロナウイルスや新型インフルエンザなどによるパンデミック対策、事業継続計画（BCP）対策など、テレワーク環境を整備することで企業にとって必要不可欠となる業務形態、対策を講じることができる為テレワーク環境の導入が進んでおり、在宅勤務やモバイルワーク、またサテライトオフィスなどの活用が進んでいます。

在宅勤務



モバイルワーク



サテライトオフィス勤務



テレワーク導入プロセス

1. 導入の検討と経営判断 (導入目的・基本方針の策定)

2. 現状把握

3. 導入に向けた具体的推進 (国の助成金活用出来ます)

- ①導入範囲、形態など基本戦略の明確化
- ②テレワークに関する社内ルール作り
- ③情報通信システムの活用によるテレワーク環境の向上
- ④テレワーク導入にあたっての教育研修

4. 試行導入

5. 試行導入の効果測定 (問題点の発掘)

6. テレワーク本格導入

まずは社内ルールの整備を

身動きがとれなくなってからでは、業務を行うことが出来ず甚大な損害が発生する可能性があります。

内社内業務規程など 環境整備には時間がかかります。

国の助成金を活用して社内ルールを整備し、スムーズにテレワークを導入する事が出来ます。

専門家派遣のスキーム、助成金の活用他

各種ご案内申し上げます

整備に向けたハード部分のサポートも可能！

